



帝京平成大学 オープンキャンパス

薬学部

楽しく学ぼう！

2026 03 29

模擬授業

体験実習

オープンラボ

ガイド

薬学部・オープンキャンパス タイムスケジュール

- ◆ 薬学科のご説明（是非ご参加ください）（3階 303教室）
10:10～10:30 12:50～13:10
- ◆ 模擬授業（3階 303教室）
「アルツハイマー病の治療戦略を考えよう」
10:30～10:50 13:10～13:30
- ◆ 薬育デモンストレーション（3階 303教室）
「実際の“薬育”の様子を見てみよう！」 10:50～11:00 13:30～13:40
- ◆ 体験実習（3階 318教室） 時間予約制：303または318教室で整理券を配布します。
「軟膏の混合調剤を体験してみよう」
11:10～11:40 / 13:00～13:30 / 13:30～14:00 / 14:00～14:30
14:30～15:00
- ◆ 体験実習（4階 436教室 SGDルーム）
「薬剤師の仕事体験（実習）」 10:00～15:00
1) 患者シミュレーターを使って、フィジカルアセスメントを体験
2) Webシステムを使って、オンライン服薬指導を体験
- ◆ オープンラボ（4階 413研究室） 10:00～15:00
「蛍光を利用した細胞活動の観察」
- ◆ 学生交流・進学相談（4階 436教室） 10:00～15:00
「薬学部のこと、薬剤師のこと、なんでも訊いてみよう」
- ◆ 薬用植物園見学（7階 エレベーター横） 10:00～15:00

模擬授業 10:30-10:50 13:10-13:30
303教室（3階）

アルツハイマー病の治療戦略を 考えよう

超高齢社会を迎えつつあるなか、認知症は大きな社会問題となっています。認知症の中でも大部分を占めるのがアルツハイマー病です。皆さんは記憶が失われるという症状が頭に浮かぶと思います。この授業では、実際にアルツハイマー病の脳中でどのような状態になっているかを説明し、最近はどのような研究をされているかを詳しく解説したいと思います。



助教 建部 卓也
薬理学ユニット

東京大学大学院薬学研究科博士課程修了、博士（薬学）、薬剤師。
現在帝京平成大学薬学部にて、生物系実習と卒業研究を担当しています。

アルツハイマー病はなぜ記憶が失われていくのかをタンパク質レベルで一緒に考えていきましょう。

“薬育”デモンストレーション 実際の“薬育”の様子を見てみよう！

会場・時間

学科説明会場(3階 303教室)

第1回10:50～ / 第2回13:30～

(模擬授業の後、10分間で行います)

- 現在薬剤師は、地域住民の予防や未病に積極的に係る健康サポート役割が求められています。
- “薬育”とは、薬学生が小中学校や高齢者施設等へ赴き、医薬品の適正使用や薬物乱用防止など健康な身体をつくるための教育活動です。
- 本学では2018年に開始し、2021年からは地域連携部の学生を中心に、継続的に行っています。
- 2年生後期のセミナー科目でも、学生同士で行う“薬育”を取り入れています。
- 実際に学生が行っている様子をご覧ください！



- 担当 薬育・地域連携委員会 地域連携部

体験実習 軟膏の混合調剤を体験してみよう！

会場・時間

調剤実習室（3階 318）

11:10～11:40 / 13:00～13:30

13:30～14:00 / 14:00～14:30 / 14:30～15:00

時間予約制：整理券を配布します

- ・薬剤師は、処方箋に基づく調剤を行う際、錠剤、散剤、水剤、外用剤など様々な剤形を扱います。
- ・調剤は、製品をそのまま使用する場合と、複数の薬剤を混合して包装したり、容器に充填することが必要な場合があります。
- ・今回は、軟膏をへらを使って混合し、容器につめてみましょう！



- ・担当 薬学臨床教育研究センター
社会薬学教育研究センター

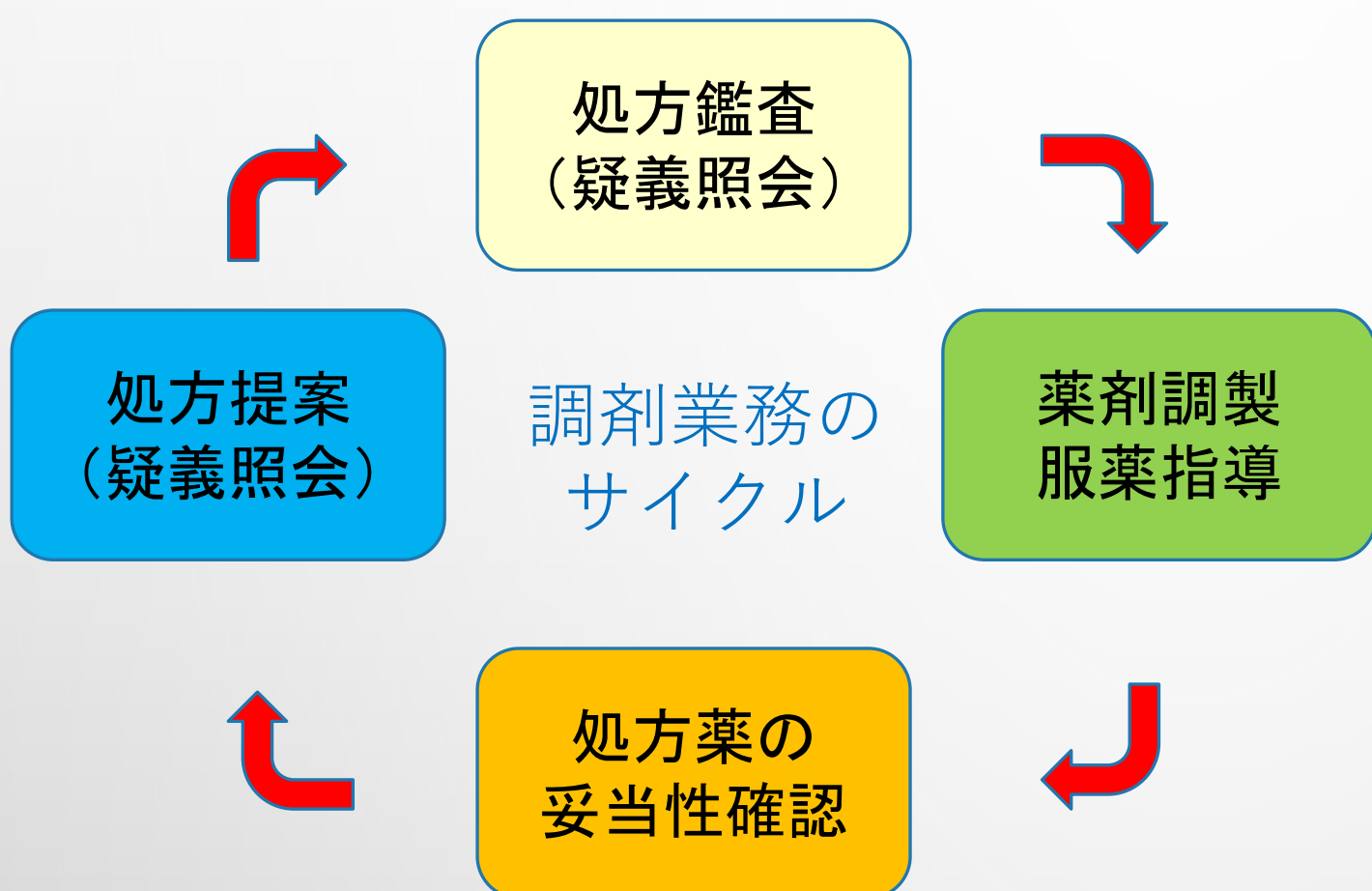


薬剤師の仕事体験（実習）

- 1) 患者シミュレーターを使って、フィジカルアセスメントを体験
- 2) WEBシステムを使って、オンライン服薬指導を体験

会場：SGDルーム（4階 436）

フィジカルアセスメント体験： 薬剤師が視診や聴診、触診などによって患者さんの全身状態を評価すること、いわゆる「フィジカルアセスメント」を行うことにより、副作用の早期発見や薬物の効果判定に寄与することが出来ると期待されています。



**お薬はちゃんと効いているのか？
副作用は出ていないか？**

薬剤師からの聞き取り
患者さん自身の訴え
患者さんの外観
臨床検査の値



薬剤師に求められる新たな技術

皮膚の状態、むくみ、脈拍
呼吸の音
心臓の音
お腹の音

基本的項目

フィジカルアセスメント

オンライン服薬指導体験： 高齢化や介助者不足などにより通院や来局が困難な患者に対しても、薬剤師と患者の信頼関係を常に継続することが可能となります。また薬局内での感染リスクの回避にもつながります。

担当教員
井手口直子， 建部卓也，
山元健太



オープンラボ

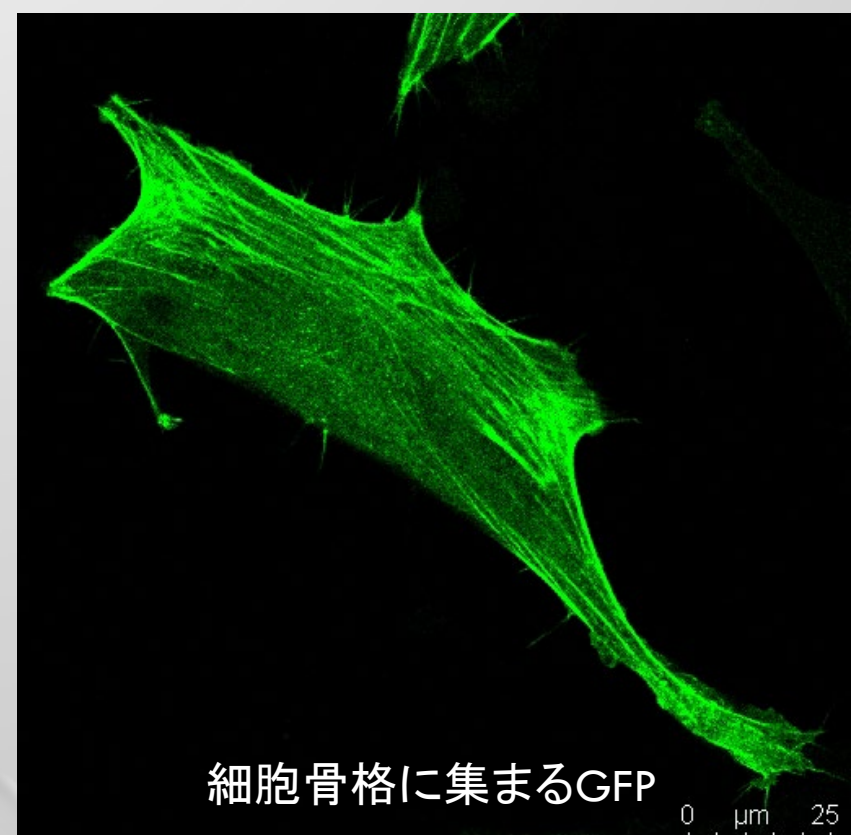
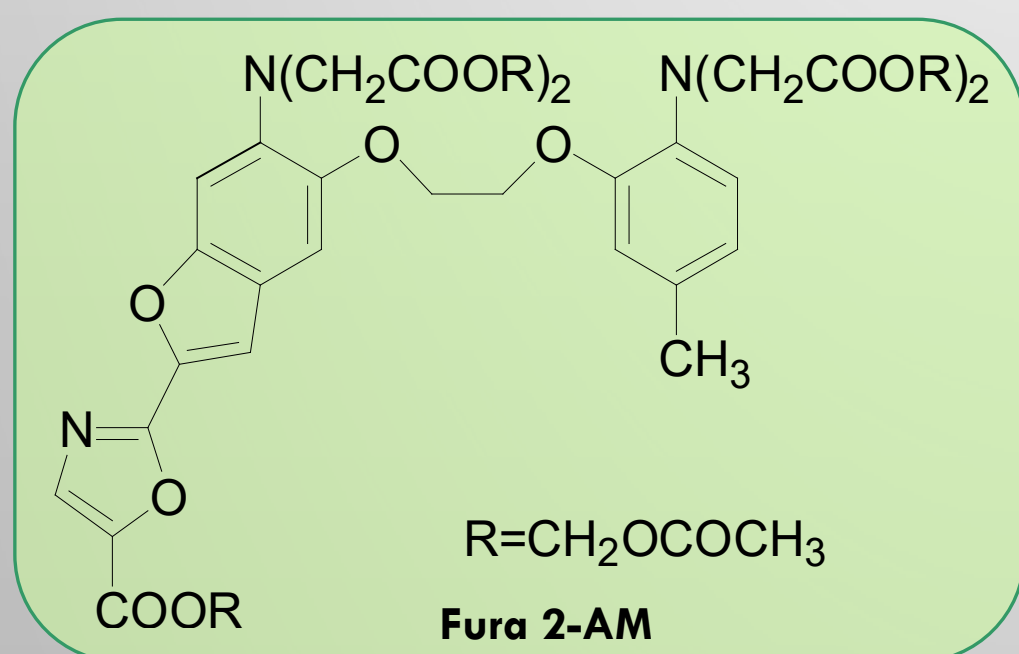
蛍光を利用した細胞活動の観察

会場：413 研究室（4階）

時間：10：00～15：00

ヒトの体は約37兆2000億個の細胞から成り立っているといわれています⁽¹⁾。細胞には骨格筋細胞、血球細胞、神経細胞などの種類があり、それぞれが協調して働くことにより生命活動が維持されています。我々はこれらの細胞活動を蛍光を用いてリアルタイムで観察することにより、細胞の機能を解き明かそうとしています。今回のオープンラボでは細胞内のカルシウムイオン濃度を測定する人工有機小分子(Fura 2)と、オワンクラゲの蛍光タンパク質(GFP)が、細胞の中で光る様子を観察して頂こうと思います。

(1) Eva Bianconi et al., *Ann Hum Biol*, 2013; 40(6): 463–47



担当教員

薬理学ユニット 吉田 卓史、戸田 雄大

おすすめコース

Aコース

調剤体験(318)



学生交流・相談(436)



薬剤師の仕事体験
(436)



オープンラボ(413)



薬草園
(7階エレベーター横)

Bコース

薬草園

(7階エレベーター横)



オープンラボ(413)



学生交流・相談(436)



薬剤師の仕事体験
(436)



調剤体験(318)

※調剤体験は時間予約制です（整理券を配布します）。

時間：11:10～11:40 / 13:00～13:30 / 13:30～14:00 / 14:00～14:30 / 14:30～15:00